

神戸大学機械クラブ会員が巣立った母校をめぐるお話

機械クラブは、大正 14 年（1925 年）11 月に神戸高等工業学校機械科の同窓会として発足しました。

建築科の同窓会は、木南会と、そして 電気科の同窓会は、竹水会と称しました。

本稿では、機械クラブ会員の皆様に関係のある機械科、機械技術員養成科、精密機械科、機械工学科、生産機械工学科、機械工学専攻、生産機械工学専攻、生産科学専攻、機械・システム科学専攻などの相互関係ならびにその変遷・歴史について分かる範囲内で記します。神戸高等工業学校機械科から国立大学法人神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻並びに工学部機械工学科に至るまでのお話です。

なお、本稿において、追記、削除などの修正が必要と思われる方は、末尾の文責者までその旨お知らせください。

1. 神戸高等工業学校の誕生と神戸工業専門学校への改称

現在の国立大学法人神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻並びに工学部機械工学科の前身は、大正 10 年（1921 年）12 月に官立の高等工業学校として設置された神戸高等工業学校の機械科、昭和 12 年（1937 年）8 月に臨時別科として設置された工業技術員養成科、そして昭和 14 年（1939 年）4 月に開設された精密機械科です。

神戸高等工業学校の発足当時の構成は、建築科、電気科と機械科の 3 科です。その後、土木科と上記の精密機械科並びに化学工業科が設置され 6 科となりました。

昭和 14 年（1939 年）4 月に、工業技術員養成科は機械技術員養成科と改称されました。機械クラブでは、機械技術員養成科の名称が使われています。なお、この機械技術員養成科のその後の記録を見つけることが出来ませんでした。機械クラブの名簿を見ると、ごく短期間で終了したように見受けられます。

昭和 16 年（1941 年）12 月 8 日、太平洋戦争勃発。

昭和 17 年（1942 年）3 月に、機械科に第二部が設置されました。

昭和 19 年（1944 年）4 月に、精密機械科に第二部が設置されました。

昭和 19 年（1944 年）8 月に、学徒動員令が公布されました。

昭和 19 年（1944 年）4 月に、神戸高等工業学校は神戸工業専門学校と改称されました。

昭和 20 年（1945 年）8 月 15 日：敗戦。

昭和 22 年度～昭和 29 年度（1947 年）～（1954 年）進学適性検査が実施されました。

昭和 23 年（1948 年）3 月に、機械科および精密機械科の第二部が廃止されました。

昭和 24 年（1949 年）5 月に、神戸工業専門学校は、戦後の学制改革によって設立された新制大学の一つである神戸大学に工学部として統合されました。

昭和 26 年（1951 年）3 月に、神戸工業専門学校は、その役を終えました。

2. 神戸大学工学部機械工学科と生産機械工学科の誕生

神戸大学は、昭和 24 年（1949 年）5 月に、学制改革により文理学部、教育学部、法学部、経済学部、経営学部、工学部の 6 学部から成る新制大学として設置されました。

工学部の当初の学科は、建築学科、電気工学科、機械工学科、土木工学科、工業化学科の 5 学科です。

機械工学科は、上記の神戸工業専門学校の機械科と精密機械科が統合されて、発足しました。

昭和 24 年（1949 年）12 月 湯川秀樹博士が、ノーベル物理学賞を日本人初のノーベル賞受賞者として受賞されました。

昭和 25 年（1950 年）6 月朝鮮戦争勃発。

昭和 26 年（1951 年）9 月サンフランシスコ講和条約に調印、日米安全保障条約を締結。

昭和 39 年（1964 年）東京でオリンピックが開催されました。

昭和 43 年（1968 年）4 月に、生産機械工学科が設置されました。機械工学科と生産機械工学科の両学科の学生は、同一学科の学生として教育を受け、研究に励みました。

平成 4 年（1992 年）4 月に、機械工学科と生産機械工学科は、改組され、機械工学科になりました。

3. 神戸大学大学院工学研究科の誕生

次いで、大学院関連のお話です。大学院の存在は、大学にとって極めて重要な存在です。大学に大学院が存在して、特に博士課程が存在して初めて、**真の大学**と呼ばれるのですよと言われた先生がいらっしゃいました。それほど重要な存在です。

3.1 機械工学専攻（修士課程）の設置

修士課程と博士課程から成る大学院工学研究科が、一気に設置されることはなく、以下のような複雑な経過を経ました。

昭和 **30** 年（**1955** 年）**7** 月に、工学部に工学専攻科が設置され、その 1 専攻として機械工学専攻が設置されました。

昭和 **39** 年（**1964** 年）**4** 月に、大学院工学研究科が設置され、機械工学科はじめ各学科に修士課程が設置されました。

ここに、学部と修士課程を擁する大学院から成る体制が発足し、機械工学科に関しては、神戸大学工学部機械工学科とその上部機構である神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻という体制となりました。

昭和 **39** 年（**1964** 年）**3** 月に、工学専攻科は廃止されました。

昭和 **43** 年（**1968** 年）**12** 月大学学舎の封鎖が始まりました。

昭和 **47** 年（**1972** 年）**2** 月に、札幌で冬季オリンピックが開催されました。

昭和 **47** 年（**1972** 年）**4** 月に、大学院工学研究科の修士課程の 1 専攻として生産機械工学専攻が設置されました。

このようにして、工学部は学部である工学部と、その上部機構としての大学院工学研究科修士課程から成る体制になりました。

昭和 **54** 年（**1979** 年）**1** 月に、第 1 回大学共通第 1 次学力試験が実施されました。

3.2 博士課程を擁する大学院工学研究科機械工学専攻の設置

次は、この課程が在って初めてその**大学が大学**であると言われる程に重要な大学院博士課程の設置のお話です。

昭和 **54** 年（**1979** 年）**4** 月に、大学院工学研究科に生産科学専攻（博士課程）が設置されました。

昭和 **56** 年（**1981** 年）**4** 月に、理学部・工学部・農学部を主体とする大学院自然科学研究科（博士課程）が設置され、大学院工学研究科の生産科学専攻（博士課程）が大学院自然科

学研究科(博士課程)へ移行されました。その結果、博士課程を擁する大学院工学研究科は、修士課程を擁する大学院工学研究科に戻りました。

平成 2 年(1990 年) 1 月に、第 1 回大学入試センター試験が実施されました。

平成 2 年(1990 年) 9 月に、神戸大学の創立の起点が、神戸高等商業学校の設置された明治 35 年(1902 年)と決定されました。

創立記念日は、この神戸高等商業学校の最初の授業が開始された日である 5 月 15 日です。

平成 3 年(1991 年)～平成 5 年(1993 年)頃 バブル崩壊。

平成 4 年(1992 年) 大学創立 90 周年を機に学歌が制作されました。

平成 6 年(1994 年) 4 月大学院自然科学研究科の改組に伴い、大学院工学研究科の修士課程は、大学院自然科学研究科博士課程へ、その前期課程として移行され、大学院自然科学研究科は、修士課程(博士前期課程)と博士課程(博士後期課程)から成る大学院となりました。

平成 7 年(1995 年) 1 月 17 日 5 時 46 分 52 秒 阪神・淡路大震災

平成 10 年(1998 年) 2 月に、長野で冬季オリンピックが開催されました。

平成 12 年(2000 年) 百年記念館が竣工しました。

平成 13 年(2001 年) 神戸大学の学旗が制定されました。

平成 14 年(2002 年) 大学創立百周年を機に、ロゴマークが制定されました。不確かな記憶ですが、ロゴマークの製作者は、機械系の学生のようなようです。

平成 19 年(2007 年) 4 月に大学院自然科学研究科の改組により、修士課程(博士前期課程)と博士課程(博士後期課程)から成る大学院工学研究科(博士課程)が設置されました。この大学院工学研究科(博士課程)の中に機械工学専攻が、神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻として存在しています。

平成 23 年(2011 年) 3 月 11 日 14 時 46 分 18 秒 東日本大震災

平成 24 年(2012 年) 12 月 神戸大学医学部出身の山中伸弥博士が、ノーベル医学・生理学賞を受賞されました。

平成 27 年（2015 年）3 月に自然科学研究科はその役目を終えました。

ここに至るまでの間、工学部機械工学科所属の教官・教員の方々は、大学院自然科学研究科において、種々の名前の専攻、たとえば生産科学専攻、機械・システム科学専攻などに属されたようです。

私の能力不足で、必要にして十分な資料を収集できず、完全で正確な専攻名・配属をお伝えできず、誠に申し訳ございません。

以上のような歴史を経て到達した、神戸大学工学部と、その上部機構である修士課程（博士前期課程）と博士課程（博士後期課程）を擁する神戸大学大学院工学研究科から成る研究教育体制が、現在の母校の姿です。

大正 10 年（1921 年）12 月に設置された官立の神戸高等工業学校は、神戸工業専門学校を経て昭和 24 年（1949 年）5 月に神戸大学工学部となり、昭和 39 年（1964 年）4 月に、大学院工学研究科（修士課程）が設置され、工学部と大学院工学研究科（修士課程）から成る体制となりました。その後、昭和 56 年（1981 年）4 月に設置された大学院自然科学研究科（博士課程）などを経て、平成 19 年（2007 年）4 月に、学士課程である工学部に上部機構である修士課程（博士前期課程）と博士課程（博士後期課程）から成る大学院工学研究科が設置され、学士を生み出す学部と修士並びに博士を生み出す大学院から成る神戸大学大学院工学研究科・工学部へと成長いたしました。この間、86 年の年月が流れました。感慨深いものがあります。

このような立派な大学へと発展させてくださいました神戸高等工業学校、神戸工業専門学校、神戸大学の機械系の先生方のご尽力に心より敬意を表しますと共にお礼申し上げます。また、何かと大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

なお、神戸大学は平成 16 年（2004 年）4 月の国立大学の法人化に伴い、国立大学法人神戸大学と称せられるようになりました。それに従うと、国立大学法人神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻・工学部機械工学科となります。

神戸高等工業学校、神戸工業専門学校、神戸大学の機械系の卒業生、修了生並びにこれに準ずる所縁の人々で構成されている神戸大学機械クラブの会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

本稿を作成するに際して、神戸大学発行の神戸大学概覧、神戸大学概要、Web Pamphlet 沿革略史、工学部ホームページ工学部の沿革、工学部学生便覧、KTC 機械クラブ会員名簿、神戸大学機械クラブホームページなどを参考に致しました。ここに記して、感謝の意を表させていただきます。

ご多忙の中を厭わず、本稿を査読し、貴重なご意見並びにご助言をくださいました機械クラブの有志の方々に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

文責：坂口忠司

令和4年(2022年)4月18日